

2019年2月14日

各位

会社名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 網屋 信介
(コード：9318 東証第2部)
問合せ先 企画管理部 天神 雄一郎
(TEL. 03-5561-6040)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、最近の業績の動向を踏まえ、2018年8月14日付適時開示資料「通期連結業績予想の修正および中期経営計画の策定に関するお知らせ」にて公表いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、上記資料にて公表いたしました3カ年中期経営計画および2020年3月期・2021年3月期の数値目標につきましては、現在見直し作業を行っており、確定次第速やかに開示いたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益
前回発表予想(A)	2,403	△418	△419
今回発表予想(B)	1,635	△837	△838
増減額(B-A)	△768	△419	△419
増減率(%)	△32.0	—	—
(参考)前期連結実績 (2018年3月期)	682	△484	△713

2. 業績予想修正の背景および内容

業績予想修正の背景および内容は下記の通りです。

株式会社トレードセブン(以下、「TS」といいます。)は、金融事業が順調に推移しているものの、古物買取販売事業においては、BRAND PIT 銀座本店開設による売上の増加が当初の計画を下回っている一方、同店開設に伴い経費が増加していることから、TS全体としては、営業利益・経常利益の黒字は確保するものの、売上・利益ともに当初の計画を下回る見通しとなりました。

TSの修正予想数値は、売上高1,395百万円(前回予想1,570百万円)、営業利益12百万円(前回予想81百万円)、経常利益12百万円(前回予想81百万円)を想定しております。

株式会社につぼんインキュベーション(以下、「NIL」といいます。なお、当社は本年3月31日付でNILを吸収合併し、同社が行う下記事業を全て承継する予定です。詳細は本日付適時開示資料「連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)および孫会社の異動に関するお知らせ」をご参照下さい。)が子会社・臻萃本物(福建)餐飲管理有限公司を通じて運営している、中国福建省福州における日本食レストラン事業につきましては、想定を上回る中国景気の低迷により、売上・利益ともに当初の予定を大きく下回る見通しとなりました。

また、NILが子会社・クリアスエナジーインベストメント株式会社等を通じて運営している、マレーシアにおける日本向けバイオマス燃料PKS供給事業につきましては、出荷量はほぼ当初の予定通りに推移しておりますが、競合国インドネシアの輸出関税が引き下げられたことに伴い、競争力を保つために単価の

見直しを余儀なくされた結果、出荷金額・利益ともに当初の予定を下回る見通しとなりました。

NIL（子会社を含む）の修正予想数値は、売上高 231 百万円（前回予想 824 百万円）、営業利益△410 百万円（前回予想△60 百万円）、経常利益△410 百万円（前回予想△60 百万円）を想定しております。

当社単体の修正予想数値は、売上高 9 百万円（前回予想 9 百万円）営業利益△439 百万円（前回予想△439 百万円）、経常利益△440 百万円（前回予想△440 百万円）を想定しております。

その結果、当社グループの連結売上高は 1,635 百万円（前回予想 2,403 百万円）、連結営業利益は△837 百万円（前回予想△418 百万円）、連結経常利益は△838 百万円（前回予想△419 百万円）に、それぞれ下方修正することといたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上